

広告

発行者 幻冬舎 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7
TEL 03-5411-6222 FAX 03-5411-6233
発行 幻冬舎 印刷 幻冬舎印刷工場 http://www.gendoh.co.jp/

21世紀の医療の大命題は「病気の予防」

医療は「治療」から「予防」の時代へ
21世紀の医療のテーマ——それは病気の予防に尽きます。20世紀は、病気を治すことに懸命となりました。しかし、同時に病気を治せば治すほど医療費が増えることが分かったのです。

今、日本の国民医療費は、毎年1兆円増え続けています。我が国は、国民皆保険制度が充実して、ほとんどの医療が保険で賄えます。しかも、高額医療保障制度を申請すると、誰もが月10万円しか支払わなくていいのです。たとえばがん治療のように、実際は毎月数百万円の治療費がかかっているにもかかわらず、では不足している分を誰が払っているのか。勿論国が負担するのです。がんという疾病だけで見ても、毎年37万人が死亡しています。その数は徐々に増えています。死亡するまでの治療費は莫大です。進行がんと診断されてから死亡するまで平均2年で2000万円かかります。

医療費の増加が招く、日本の財政破綻
しかも、2025年には団塊の世代の約800万人が75歳以上の年齢を迎えます。このままのペースで推移していけば、毎年1兆円ずつ国民医療費が増加するので、現在約39兆円の国民医療費が、2025年には50兆円を超えることが予想されます。国民医療費が50兆円を超えれば、米国の格付け会社スタンダード・アンド・プアーズが国債の格付けを見直すと言っています。

現在日本の格付けは、AA(ダブルA)ですが、A(シングルA)となります。Aというのは投機的格付けとなりますから、格付け

が下がれば日本国債を買わなくなり、日本国が倒産の危機に瀕します。

今、国が注力すべきは「予防医学領域」
そんな危機感から、財務省は厚生労働省に対して医療費の節減を強く求めています。ジェネリック医薬品を推奨しているのもその一つです。しかしジェネリック医薬品による削減効果は、年間数千億円に過ぎません。さらに厚生省は、ベッドから在宅へと病院数を減らして在宅にシフトしています。訪問診療専門のクリニックも続々と開業されています。高齢者を在宅で看取することで、高い保険点数を与えていることが考えられます。これでは、病人が減ったのではなく、右(病院)から左(在宅)へと移動させただけです。

国民医療費を抜本的に削減するには、病気の予防しかありません。

厚生省は、予防医学領域に医療資源を注力すべきでしょう。病気になる前から治療して、火事になってから消火すると同じ。火事になってから消火しては、家は全焼し、命を落としてしまいます。医療でいえば、医療費が増え続け、財政破綻に

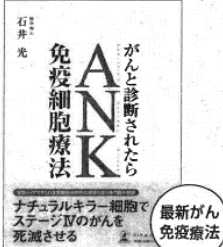
一歩ずつ近づいていくだけです。



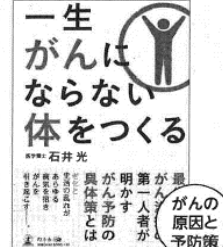
石井 光

（いしい・ひかる）
医学博士
日本医科大学卒業後、東京女子医科大学、埼玉医科大学などを経て、1996年に自身のクリニックを開業。内視鏡検査は年間3000件を超え、検診人間ドックで胃がん・大腸がんなどの早期発見によるがん予防に尽力。ANK免疫細胞療法によるがん治療は全国トップクラスの症例数を誇る。予防医療の研究に情熱を注ぎ、コラーゲンによる萎縮性胃炎の治療、骨密度上昇、軟骨再生、豊胸、アテローム性動脈硬化化の改善など、人々が健康な人生を送るための医療サポートを続ける。

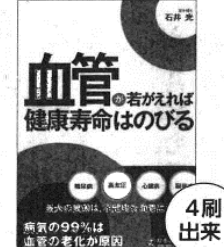
医学博士 石井光の本



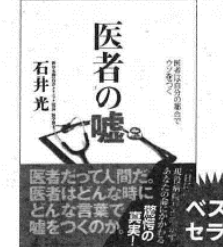
『がんが診断されたらANK免疫細胞療法』
定価(本体1200円+税)
胃がん・大腸がん・卵巣がん…などステージⅣの末期がんを手術可能に！ ナチュラルキラー細胞の増殖・活性化でがんを挑む、画期的治療法を徹底解説。



『一生がんにならない体をつくる』
定価(本体1300円+税)
日本人の男性6割、女性約5割ががんになる時代(平成22年)だから、絶対に読んでおきたい。一生がんにならないための処方箋。



『血管が若ければ健康寿命はのびる』
定価(本体1200円+税)
糖尿病、高血圧、心臓病、脳卒中……最大の原因は、不健康な血管にあった。血管を若がえらせ老化と病気を予防するヒントが満載。



『医者の嘘 医師は自分の都合で嘘をつく』
定価(本体1100円+税)
ネットの病院ランキングを信じるな！ 抗がん剤には発がん性がある、市販のコラーゲンは品質に問題あり……。現代医療に溢れる「医者の嘘」に切り込む！

[全国大型書店・有名書店で好評発売中]